



「とねりん」
利根町観光協会
イメージキャラクター

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

12月定例会

No. 165

2024.2.2

栄橋から撮影した日の出

令和5年第4回 議会定例会 議案概要

議案第62号 令和5年度利根町一般会計補正予算（第4号）の専決処分について…… 【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ1億2,216万8千円を追加し、総額を72億1,766万円とするもので、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、承認を求めるものです。

(11月29日専決処分)

議案第63号 令和5年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分について…… 【承認】

診療所の施設勘定予算額に歳入歳出それぞれ163万3千円を追加し、総額を1億7,509万2千円とするもので、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、承認を求めるものです。(10月24日専決処分)

議案第64号 利根町課等設置条例の一部を改正する条例…… 【原案可決】

妊産婦、子育て世帯及び子どもが気軽に相談できる身近な相談機関としてのこども家庭センターの設置に伴い、子育て支援課の分掌事務について改めるものです。

議案第65号 利根町子ども・子育て支援会議条例…… 【原案可決】

子ども・子育て支援法第72条第1項に規定する子ども・子育て支援会議を、地方自治法第138条の4第3項に基づく附属機関として設置するため、条例を制定するものです。

議案第66号 利根町下水道事業の設置等に関する条例…… 【原案可決】

下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行するにあたり、必要な事項を定める条例を制定するとともに、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第67号 利根町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例…… 【原案可決】

医療福祉費支給に関して、妊産婦区分の支給制限を廃止することに伴い、関係する条文を改めるものです。

議案第68号 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例…… 【原案可決】

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律による地方税法の一部改正に伴い、産前産後期間における国民健康保険税の減額措置を定めるものです。

議案第69号 令和5年度利根町一般会計補正予算（第5号）…… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1億9,900万7千円を追加し、総額を74億1,666万7千円とし、また、債務負担行為及び地方債の補正をするものです。

議案第70号 令和5年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）…… 【原案可決】

事業勘定予算額に歳入歳出それぞれ236万8千円を追加し、総額を20億1,974万6千円とし、また、債務負担行為の補正をするものです。

議案第71号 令和5年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）…… 【原案可決】

予算額から歳入歳出それぞれ27万4千円を減額し、総額を3億796万9千円とし、また、債務負担行為の補正をするものです。

- 議案第72号 令和5年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第2号）**……………【**原案可決**】
債務負担行為の補正をするものです。
- 議案第73号 令和5年度利根町介護保険特別会計補正予算（第2号）**……………【**原案可決**】
予算額に歳入歳出それぞれ3,434万4千円を追加し、総額を17億8,107万9千円とし、また、債務負担行為の補正をするものです。
- 議案第74号 令和5年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）**……………【**原案可決**】
予算額に歳入歳出それぞれ1,700万6千円を追加し、総額を6億5,254万8千円とするものです。
- 議案第75号 利根町教育委員会委員の任命について**……………【**同意**】
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を得るものです。
- 議案第76号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について**……………【**同意**】
地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を得るものです。
- 議員提出議案第3号 イスラエルによるガザ攻撃中止・即時停戦と人道支援に向けた外交努力を日本政府に求める意見書提出の件**……………【**原案可決**】
※詳細は、議員提出議案第3号のページ（6p）を参照してください。

人事案件

▼利根町教育委員会委員の任命について

さとう ただのぶ
佐藤 忠信 氏

任期：令和6年1月1日から令和9年12月31日

教育委員会

教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置され、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体の事務を執行します。教育委員は利根町の住民で、教育に識見を有する者の中から、議会の同意を得て町長が任命します。
(利根町教育委員会委員：4名)

▼利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について

いとう つねお
伊藤 恒夫 氏

任期：令和5年12月25日から令和8年12月24日

固定資産評価審査委員会

固定資産評価審査委員会は、地方税法の規定により設置された中立的、専門的な第三者機関で、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定します。委員は利根町の住民、町税の納税義務者又は固定資産の評価について学識経験を有する者の中から、議会の同意を得て町長が選任します。
(利根町固定資産評価審査委員会委員：3人)

討論

上程された議案等に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています。記事は原則各議員が作成したものです。)

〈議案第65号 利根町子ども・子育て支援会議条例〉

反対討論

井原正光 議員

幼児期の学校教育、保育・地域の子育て支援の拡充、質の向上を進める制度で、必要とする家庭が利用でき、子供たちがより豊かに育っていける支援を目指し取り組みを進めるものです。子育てしている皆さんの意見を聞いて、色々な問題を解決する。1~2日かかってもまとめる重要な会議です。重要性に鑑み、合議制で決するのが良い。この条例を過半数で決するのは反対する。

反対討論

峯山典明 議員

2点挙げます。第3条の保護者の人数、公募される町民の代表者の人数、はたしてこの人数で良いのか、とまず私は考えました。そして二つ目に費用弁償。会長が日額4,800円、委員が4,200円。しかし会議の中で何か意見が必要だと、説明が必要だという時に委員以外の者の出席を求めるとあります。出席していただく方に対して費用弁償は考えていないということだったので、出席を求める方にも費用弁償は必要だと私は考えます。

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

議会において、任期満了による選挙管理委員会及び補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

○選挙管理委員

しのぎ 篠崎 達 氏、 とおる 渡邊 譲 氏、 わたなべ 川村 典男 氏、 ゆずる 川村 典男 氏、 かわむら のりお 氏、 はにゅう 羽入 榮 氏、 さかえ

任期：令和6年1月1日から令和9年12月31日

○補充員

とまる 外丸 節男 氏、 せつお 坂田 重雄 氏、 さかた 山岡 詔二 氏、 しげお 坂本 博司 氏、 やまおか しょうじ、 さかもと ひろし

任期：令和6年1月1日から令和9年12月31日

(補充員の補充の順序は、記載の順となります。)

✎ 選挙管理委員会

選挙管理委員会は、執行機関として、地方公共団体に置かなければならない委員会の一つで、4人の選挙管理委員をもって組織されます。この選挙管理委員は、選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な識見を有するもののうちから、地方公共団体の議会が同数の補充員とともに選挙することとされております。任期は4年です。

議員提出議案第3号

「イスラエルによるガザ攻撃中止・即時停戦と人道支援に向けた外交努力を日本政府に求める意見書提出の件」

●賛成全員で可決

提出日：令和5年12月12日

提出者：山崎 敬子 議員

賛成者：本谷 孝 議員・佐藤 眞一 議員・峯山 典明 議員・
新井 邦弘 議員・船川 京子 議員・井原 正光 議員・
五十嵐辰雄 議員・山崎誠一郎 議員・大越 勇一 議員

「イスラエルによるガザ攻撃中止・即時停戦と人道支援に向けた外交努力を日本政府に求める意見書」

イスラエルの大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区の状況は、「子ども達の墓場と化し、人々の生き地獄となっている」（ユニセフ）とも言われる深刻な危機に直面している。すでにガザ地区では犠牲者が1万2千人を超え、その4割は子どもと報じられている。

今回のガザ危機の直接の契機は、10月7日のパレスチナのハマスによる無差別攻撃によるものとされているが、民間人を無差別に殺傷することは国際法違反であり、強く非難するとともに、ハマスに対し人質の即時解放を求めるものである。

しかし、いかなる理由があっても、イスラエルが「自衛権」を盾に、圧倒的な軍事力を使用した報復でガザ地区の難民キャンプ、病院への大規模攻撃などを行うことは決して許されるものではない。

国連総会の緊急特別会合で10月27日、人道目的での休戦などを求める決議案が121カ国の賛成で採択された。また、国連安全保障理事会は、11月15日、「人道的な中断」を求める決議を採択しており、ガザ地区の深刻な人道的危機を一刻も早く止めさせることが求められている。

イスラエルとパレスチナはこれらを真摯に受け止め、国際法・国際人道法を順守すべきであり、これ以上、無事の市民が戦火に晒される事態を許すべきではなく、国際社会は、対話と交渉を通じて諸問題の解決に向かう環境整備に全力を尽くさなければならない。

現在、日本政府は国連安全保障理事会の非常任理事国10カ国の一席を有しており、決議案を出すことができる貴重な役割を担っている。

日本政府は、イスラエルに対しては民間人を犠牲にした軍事行動の即時停止と安保理決議の順守を、イスラエル・パレスチナの双方には停戦に応じるよう外交努力を尽くすとともに、人道支援の実現に向け最大限の努力をするよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月12日

茨城県北相馬郡利根町議会

▽意見書提出先

内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長

※意見書は12月15日に送付しました。



町政のここが聞きたい

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 動物愛護について

答 情報の充実・周知を行っていく

山崎敬子議員

問 笠間の動物指導センターは満杯で、すぐにでも殺処分を再開しなければならない状態である。町として動物愛護、ペットや野良猫に対する対策はあるのか伺う。

答 9月の犬猫愛護週間に「広報とね」にて飼い主のルールや飼育マナー等の記事を掲載し、住民の方に周知している。11月23日に開催したわんてらす in 利根町では、しつけセミナーや保護犬猫譲渡会を行った。今後の開催については、関係課と連絡調整を取り検討したい。

問 県では犬猫の避妊去勢手術費用の助成事業を行っているが、町独自で助成を行う考えはあるのか伺う。

答 県の助成を受けられない飼い主の方が多くいれば検討する。

問 個人的に野良猫を増やさない為のTNR活動（地域猫活動）をされている方がいるが、自治体として支援する考えはあるのか伺う。

答 現在ボランティアで行っている地域猫活動が、一時的なものではなく継続して行えるよう支援したい。

問 ペットの防災対策はどのようになっているのか伺う。

答 ペットと同行避難するための準備などを記載したマニュアルを作成し、周知していきたい。

問 がん患者ケア用品購入費用について

答 望ましい方向で検討していく

船川京子議員

問 がん治療を受けている方のウィッグ・乳房補整具など、アピアランスケア用品や、多様である現場のニーズから、医療用帽子や肌、爪などの医療用ケア用品の支援など、購入費用補助制度導入について町の見解を問う。

答 がん治療を受けている方の就労など、社会参加を支援する観点から、望ましい方向での対応を検討していく。まずはニーズの高いウィッグ・乳房補整具の補助制度の創設を目指し、医療用ケア用品については、引き続き調査研究していきたい。

問 蜂の巣駆除についての対応は、町有地などでは町で行っているが、個人宅においては自己対応となっている。蜂の巣駆除についての情報提供や、個人宅などで駆除を行う費用に対する助成制度創設について町の見解を問う。

答 蜂の巣駆除に関する情報を分かりやすく町民に周知していく。助成制度の運用については、令和5年度中に制度設計を行い、令和6年度からの運用開始に向け、関係各課と協議・検討していく。

問 利根町地場産業推進協議会で取り扱う『大吟醸 利根のさくら姫』について、これまで4年間の実績を踏まえ、費用対効果と今後の対応についての見解を問う。

答 新型コロナの流行が始まり、思うような宣伝活動はできなかったが、昨年度より各種イベントで配布を行い、「利根のさくら姫」や利根町について、一定の宣伝効果はあったと考えている。今後も利根町地場産業推進協議会、利根町社会福祉協議会、利根町商工会と協議・協力し、事業の継続を支援していきたいと考えている。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 人口減少社会のまちづくりについて

答 第5次総合振興計画に基づき実施する **五十嵐 辰 雄 議員**

問 地方創生の取組みは、人口減少が最優先課題に位置付けられ、行政の積年の課題です。人口減少、超高齢化、地場産業の衰退等により悪循環に陥っています。この縮小する要因に歯止めをかけなければ、地域の抱える様々な課題が一層深刻化していきます。課題は何であるか早期に発見し、結果を分析し、対策を打って危機回生策を講じることです。自治体相互の連携だけでは限界がありますので、地域の民間企業と提携して、専門知識を生かしながら、前例踏襲によらない前例無き道を開拓するに尽きます。今年度から、第5次総合振興計画後期基本計画策定及び地域公共交通計画策定に取り組んでいます。具体的内容をお尋ねします。

答 第5次総合振興計画後期基本計画の策定については、町民の皆様から御意見やご要望を把握するためアンケート等

を実施します。居住・定住の意向、生活環境への満足度、まちづくりの優先度等、調査分析を行っています。また、利根町図書館で11月18日に第1回まちづくりワークショップを開催し、令和6年3月までに3回開催します。そのほか、1月に利根中学校3年生を対象に中学生ワークショップを開催します。今後、アンケート結果を分析、地域の課題の洗い出しを行い、策定委員会、審議会に諮り策定作業を進めます。

地域公共交通計画策定事業については、地域公共交通活性化協議会でアンケート調査を実施します。また、地区懇談会（布川地区、文地区、文間地区、東文間地区）を12月9日、10日の2日間で実施します。各地区の公共交通の現状や課題、公共交通に対する要望等を取りまとめ、論点整理し地域公共交通活性化協議会に諮り、調査検討します。

問 文間城の文化財としての保存について

答 保存に努める **井 原 正 光 議員**

問 町長等給料の引上げが訴訟された。

答 取り下げられ裁判は終了した。

問 歳入歳出決算の計数に相違がある。

答 実質収支額は、歳入歳出差引額から繰越すべき財源、事故繰越額などを差し引いた額です。一方は、記載要領で災害援護資金貸付金の償還金は令和5年度に償還する財源として、事故繰越扱いとなり差し引いてあります。

問 利根町暮らしの便利帳が各戸無償配布され、株式会社大越、大越議長の写真が載っている。

答 町は会社に作成内容の情報を提供し、広告に掲載した事業者にとってもメリットがある。公選法上は、選挙のない期間の活動と事前運動の見分けが難しく、広告が定期的か、挨拶目的の有料広告は禁止されているが、内容が事前運動に渡らないものは可能です。直ちに違反に該当するものではないと考える。

問 布川地区の道路計画が必要です。

答 工業用地など今から計画に入れると、事業が一時止まって数年耕作ができなくなり難しいと考える。

問 文間城を保存する考えは。

答 西暦1300年代に築城され埋蔵文化財として貴重なものであり、保護・保存に努めます。

問 アンケート対象が2000人の理由は

答 人口規模によって数が算出されている

峯山典明議員

問 ふれ愛タクシーの予算額は適切とは言えません。政策評価シートで達成率が100%を超えている事実から更なる増車が必要です。より多く予算を割り当てるべきではないでしょうか。

答 年間利用者数が目標値を超えたからという理由のみで予算を増やして増車するものではございません。行き先が追加される際には車両が不足する場合もあります。その辺は車両の増車も検討しなければなりません。

問 ICTアドバイザー採用の際、町内の人材活用、町民に頼ることを検討されたかどうか伺います。

答 町の一般財源のみで人材を確保することが厳しく、特別交付税で措置される地域活性化起業人制度を検討してきま

した。3大都市圏の企業等の社員を在籍派遣で受け入れることが条件なので、町内の人材活用は検討しておりませんでした。

問 町単独での予算確保が難しいので総務省の制度を採用したのでしょうか。

答 そのとおりです。

問 2000人でアンケートを行っても全町民対象でも同じような結果が出る。400人以上の結果が出れば十分、費用や時間の面から2000人を対象にしたわけですが、答えたかったけどそれが叶わなかった人の感情面は考慮していただきたい。全町民を対象に実施することで帰属意識が育まれていくと思う。いかがでしょうか。

答 そういう方もいますので、パブリックコメントを実施したいと考えている。

問 日本人・外国人の異文化共生について

答 利根町国際交流団体への支援を継続

佐藤真一議員

問 利根町に住む外国人への対応（日本人・外国人の異文化共生）について伺う。

答 利根町国際交流会、日本語サロンに対し国際文化交流バスツアーへの支援、講演会への協賛、「広報とね」への掲載、ポスターの掲示、チラシの配布支援を行い、今後も支援を継続し、異文化共生を推進。

問 利根町における外国人への行政の対応策について伺う。

答 外国人が転入手続きに来た時、生活環境課で作成したごみ分別のチラシを配布、各学校にも渡している。現在翻訳機ポケットを窓口を設置。通訳の配置、外国語の書類の作成は今後の課題。

問 移動販売「福の助商店」について不便で利用しにくいという声があるが

その対策は。また龍ヶ崎市では移動スーパー＝宅配サービスがあるが、「福の助商店」はどうなっているのか伺う。

答 町有地での販売や私有地を無償で使用させて頂き販売しているが、地区の要望に基づき、販売場所の追加で対応したい。「福の助商店」では宅配サービスは困難。

問 成約状況、空き家・空き地バンクの活用策はどうなっているのか伺う。

答 空き家の成約状況は、令和2年度1件、令和3年度4件、令和4年度1件、空き地は、令和2年度1件、令和3年度1件、令和4年度0件。空き家コーディネーターを募集し、その業務は、初めに利根町の空き家や空き地を認識していただき、空き家・空き地バンクの管理運営や移住希望者とのマッチングおよび相談業務を行う。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 旧東文間小学校跡地の利活用は

答 県主催のマッチングを活用し募集する

本 谷

孝 議 員

問 廃校されてから約15年もの間、利活用されていない旧東文間小学校が廃墟状態となっているが、いつまでもこのままでは利根町を訪れた人の印象が悪く、卒業生や町民の気持ちが沈む。旧東文間小学校が再び輝ける様、跡地利用を早急に進めるためにも過疎債を活用する考えはあるのか。

答 旧東文間小学校の跡地利用については、廃校時から民間事業者に貸与し、一体的な利活用をしていただく方向で模索してまいりましたが、未だに誘致には至っておりません。現在は茨城県主催のマッチング事業に参加し、仲介をしている事業者と相談しながら利活用に繋げられればと考えておりますので、現段階では過疎対策事業債を活用する計画はありません。

問 役場庁舎の大規模改修工事に、8億7千万円もの工事費用が発生するとの

こと、なぜ町民の理解を得る前に急いで実施するのか。大規模改修工事をするなら、町民から意見を募り、環境に考慮した夢のある庁舎に改修すべきではなかったのか。移住者増と定住促進につながる暮らしやすさの追求と教育や福祉等の住民サービスの充実を図り、生活インフラ整備や防犯防災対策等、安心安全な利根町の実現こそが過疎対策と考えるが、町の考えは。

答 現庁舎は、平成元年に建設してから35年経過し、雨漏り対策として屋外防水工事や外壁の改修工事、また庁舎機能の維持管理や空調設備、電気設備機器について2カ年で実施するものです。令和3年度に策定した公共施設個別計画の総合劣化度評価にて、修繕等の優先度が高いC評価と判定されて、工事を急いだのは、議会棟の空調が故障し部品調達が難航したため、令和2年度から基金を積み立て、今年度着工に至っております。

問 利根町制施行70周年記念事業について

答 町民の皆様とともに機運を高めていく

山 崎

誠一郎 議 員

問 先の6月議会において、町長より令和7年1月1日を持って町施行70周年の記念行事を施行するとの発言があった。永年利根町に住んでいただいている皆様、これまで町の発展に寄与された皆様への感謝を込めた思い出に残る記念行事、また、これからも10年・20年と利根町に住みたいと思っただけのような記念行事となるよう、今後、色々な計画・実施内容等が検討・準備がされていく事と思うが、現在の状況について町の考えを伺う。

答 事業内容については、町民等提案型、各課提案型事業、新規事業、70周年記念の冠を付けた事業を考えている。ロゴマークも決定していく。記念式典は令和7年1月中旬に開催したいと考えている。なお、記念式典に向け令和6年4月より各種記念事業を実施し、町民の皆様への機運を高めて

いく。なお、予算については概算であるが3,700万円である。

問 若草大橋の時間帯の無料化について伺う。この質問は議員就任後4回目の質問となる。前回の質問時に、町長より近隣自治体及び千葉県側自治体の協力を得て無料化に努めたいとの答弁があった。過疎地域指定、人口流出・人口減少の大きな要因であるとする若草大橋の渋滞緩和を目的とした若草大橋の時間帯の無料化について、町の考えを伺う。

答 無料化措置には、近隣市町との協力・連携が必要である事から、龍ヶ崎市、河内町と情報交換や情報共有を開催している。そして、千葉県が事務局なる「(仮称)若草大橋延伸協議会」が発足された。好機と捉え前向きに進めていく。

令和5年度 利根町議会議員行政視察研修

報告：新井 邦弘 議員

○参加議員：大越議長、山崎（誠）副議長、五十嵐、船川、新井、石井、峯山、佐藤、本谷、山崎（敬）議員

令和5年11月6日（月）に、議員10名が横須賀市で事業展開をしている終活支援事業の視察研修をしてまいりましたので報告いたします。

研修会では、「これからの市民は、自らの死後に責任を持つ努力を」、「これからの行政は、市民の努力に報いる制度の整備を」を目的に行っているエンディングプラン・サポート事業と「わたしの終活登録」の2つの終活支援事業について説明いただきました。

エンディングプラン・サポート事業は、ひとり暮らしで身寄りがなく、生活にゆとりがない（高齢等の）市民の方の葬儀や納骨などに関する心配事を早めに解決し、生き生きとした人生を送っていただく事業です。本人・行政・協力する葬儀社の間で登録・申請、支援、契約等を結ぶことで、ご本人の葬送に関する生前意思を尊重することができるもので、住民の孤立相談の決め手の1つとなっているそうです。

「わたしの終活登録」は、世帯構成や年齢に関わらず、電話1本で登録ができ、本籍や緊急連絡先、かかりつけ医、エンディングノート・遺言書の保管場所等の情報を無料で登録をすることができる事業です。自分に万が一のことが起きた場合に、警察や病院等の問い合わせに対して行政が本人に代わり伝えることができ、身寄りがいないなど、身元保証問題解決の一助になっているそうです。

終活という言葉は知っていても、何から始めたらいいのか、何をすればいいかわからない方が多くいらっしゃる中、行政がサポートし、行政にしかできない終活支援を行うことで、終活に対する不安が少しでもなくなるのではないかと感じました。

今回の視察研修においては、参加議員が終活支援について考える大変意義のある研修機会となりました。



▲視察の様子（横須賀市議会・会議室）



▲横須賀市議会議場にて

令和5年度 県南町村議会議員大会

令和5年11月24日（金）美浦村中央公民館において、県南町村議会議員大会が開催されました。大会開催にあたり、持続可能な地域社会の確立を目指して、地域創生の実現を目指し一致結束して果敢に行動する旨の大会宣言を採択した後、①議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備、②大震災及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立、③地方創生とデジタル社会の実現に向けた施策の推進、④分権型社会の実現と道州制導入反対、⑤町村財政の強化、⑥脱炭素社会の実現に向けた環境保全対策の推進など15の事項にわたり決議しました。

また、水戸財務所長の梅村 知己氏及び、女優の白石まるみ氏による講演を聴講しました。この2部構成での講演会では、数年ぶりに各町村の幹部職員も参加ということもあり、多くの職員が講演を聴講し、有意義な講演会となりました。この大会を通じ、今後ますます議員及び県南町村間の交流が活発になることを期待します。



挨拶をする大越勇一議長

【第一部】

演題：「新しいお金とお金の未来。そして資産形成」

講師：財務省 関東財務局 水戸財務事務所長 梅村 知己 氏



梅村 知己 氏

【第二部】

演題：「支援者の心を開く個性心理学

～ヒトの取り扱いを知って共感を得る方法～」

講師：俳優・歌手・個性心理学認定講師 白石 まるみ 氏



白石まるみ 氏



△講演会の様子



△梅村講師、白石講師、佐々木町長
(前列中央) (前列右から3番目)

委員会活動

ICT化特別委員会

ICT化特別委員会：山崎 誠一郎 委員長

○参加議員：山崎（誠）委員長、船川副委員長、五十嵐、井原、新井、石井、峯山、佐藤、本谷、山崎（敬）委員、大越議長

令和5年10月26日（木）に、ICT化特別委員会が取手市議会と下妻市役所を視察しましたので報告いたします。

「議会改革に繋がるICT活用やDX（デジタルフォーメーション）の取り組みについて」取手市議会

取手市議会では、オンライン会議システムを活用し、災害等で議員が議場に来られない場合でも、本会議で一般質問をすることが可能となったとのことで、運用方法などを説明いただきました。また、バリアフリー上の課題に対して、360度カメラを導入することで、直接の傍聴が難しい方もオンライン上で自由に画面を動かして会議を傍聴できるようになり、ICTやデジタル化によって住民の要望に沿う形を実現している事例であると感じました。

その他、「ハイブリッド委員派遣」やタブレットでの表決システム、議員と市民のオンライン意見交換会など、取手市議会の様々なICT活用とDXの取り組みについてご紹介いただきました。視察を通して、更なるICT活用、町議会でも取り入れられる運用や事例について調査研究することができました。



△取手市議会の視察（市議会議場にて）

「行政手続きのオンライン化、DX推進の取り組みについて」下妻市役所

下妻市では、DXを推進するため、新庁舎の移転に併せてDX推進課が令和5年度から新設されました。それまでは推進計画がなく、紙ベースの業務プロセスが多いといった他の自治体と同様の課題があったそうですが、令和5年3月にDX推進計画が策定され、例えば、業務を内製化できるアプリを導入することで、データ集計が容易になり、業務の効率化とペーパーレスが図られているとのことでした。その他、通信アプリのLINE上で様々な手続きを行える「スマホ市役所」や、高齢者のスマートフォン購入補助制度、スマホ相談コーナーなど、DX推進に向けた取り組みを紹介いただきました。視察を通して、市民サービスの向上と職員の働き方改革の両面から、DX推進を調査研究することができました。



△DX推進課の視察（下妻市役所にて）

議会のICT化はタブレット導入やペーパーレス等に留まらず、更なる活用によって開かれた議会、議会活動の活性化につながる可能性を秘めております。今後、ますます本格的に進展するDXに対し、利根町として遅れる事の無いよう、デジタル技術やデータを活用し、町民の方の利便性向上と、時代に即した変革を進めていく必要があると考えております。今回2か所の視察研修で得られた内容を生かし、ICT化特別委員会として、引き続き調査・研究していく所存です。

議会運営委員会

議会運営委員会：船川 京子 委員長

議会運営委員会は、円滑な議会運営等のため設置された委員会で、特に本会議の日程や案件を決めるなど議会運営全般について協議、意見調整を行っています。

- ・11月28日（火）午後1時30分～
第4回定例会の会期日程・議事日程等について

訃報

利根町議会議員 石井 公一郎議員（76歳）が去る12月1日に逝去されました。故石井 公一郎議員は、平成27年4月に町議会議員初当選以来、3期8年余務められ、その間、町議会副議長、厚生文教常任委員会委員長などを歴任され、本町の発展に多大の貢献をされました。

ここに、生前の幾多の功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



稲敷地方広域市町村圏事務組合議会議員の選出

石井 公一郎議員の逝去に伴い、12月12日付けで新井 邦弘議員が稲敷地方広域市町村圏事務組合議会議員に選出されました。

令和6年能登半島地震のお見舞い

この度の地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

利根町議会では、被災された皆様を支援するため、議員全員で災害義援金として茨城新聞文化福祉事業団に10万円を贈りました。

被災地域の皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

利根町議会議員一同

第12回議会報告会開催のお知らせ

利根町議会では、町民の皆様が開かれた議会を目指し「議会報告会」を開催しています。議会報告会は、定例会・臨時会の議案審査内容の説明や議会活動状況を町民の皆様へ報告するとともに情報や意見の交換を行う場として開催するものです。

皆様からいただきました議会活動等に関するご意見等については、今後の議会運営等の参考とさせていただきます。

どなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

- 日 時：令和6年4月13日（土）午後1時30分～
- 場 所：利根町文化センター 多目的ホール
- 内 容：令和5年度の利根町議会活動報告、意見交換等
（参加申込み不要）



◎事前質問の受付について

事前にご質問等を受け付けいたします。ご質問等がある場合は、期限までに議会事務局へお送りください。当日の意見交換会の場で、事前に寄せられた質問等をご紹介します、回答いたします。

お申込方法

下記4つの中からいずれかの方法により、受付期限までに議会事務局までお送りください。様式については自由（任意）です。

- ① FAXでのお申込み：FAX 番号 0297-68-6910
- ② メールでのお申込み：メールアドレス gikai@town.tone.lg.jp
- ③ 窓口でのお申し込み：利根町役場 議会事務局に持参してください。
※開庁日(午前8時30分～午後5時15分(土日祝日を除く。))
- ④ 郵送でのお申込み：〒300-1696 利根町布川841番地1 利根町議会事務局宛て

<記載事項（必須）>

(1) 氏名 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 事前質問等を必ず記載してください。

受付期限 令和6年2月29日（木）まで（必着）

※ 1. 類似した質問はまとめさせていただきます。

※ 2. 議員個人に対する要望についてはお答えできませんので、ご了承ください。



利根町議会日誌（令和5年10・11・12月）

活動内容	
10月	
2	阿見町議会議員来庁
8	第49回利根町民運動会
11	県南町村会地方行政等視察研修会（～14日）
17	広報編集委員会
18	龍ヶ崎地方衛生組合議会・全員協議会
19	茨城県南水道企業団視察研修（～20日）
22	第74回茨城県消防ポンプ操法競技大会
26	利根町議会ICT化特別委員会行政視察研修
27	県南町村議会議長会
〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会・定例会
28	第10回利根町グラウンド・ゴルフ大会
29	利根消防署竣工式
30	令和5年度町村議長行政視察（～31日）
11月	
1	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会・全員協議会
〃	市町村国民健康保険運営協議会委員研修会
3	第37回利根町文化祭（～4日）
6	利根町議会議員行政視察研修会
10	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会・定例会
12	第46回全国育樹祭式典

活動内容	
11月	
14	龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会・全員協議会
15	第12回利根町老人クラブ連合会・演芸大会
20	龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会視察研修（～21日）
21	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会行政視察（～22日）
24	令和5年度県南町村議会議員大会
28	ナガエツルノゲイトウ対策会議
〃	議会運営委員会
29	第67回町村議会議長全国大会
12月	
4	令和5年第4回議会定例会（～12日）
6	利根町建設業協会・通常総会
8	議員全員協議会
〃	利根町土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例に関する議会説明会
〃	第2期利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する議会説明会
14	利根町商工会女性部創立45周年記念式典
26	スクールバス事故に関する議会説明会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。

第4回定例会の傍聴者数は、延べ35名でした。

※本会議の様子をYouTubeで配信しています。

こちらから⇒

利根町公式ホームページからアクセスできますので、是非チャンネル登録をしてご覧ください。これまでのライブ配信や、録画配信（令和5年12月以降）がご覧いただけます。

○次回の定例会は、令和6年3月4日（月）から開催する予定です。



町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

こちらから⇒

利根町議会会議録は、図書館と役場1階会計課前の情報公開コーナーにあります。

